

児童発達支援事業所における自己評価結果(公表)

公表: 令和 年 月 日

事業所名 リトルグリーンバードねさぶ教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	3	1	活動内容に応じて空間の使い方を工夫している。	
	2	職員の配置数は適切である	4	0	職員間で連携を図れるように相談を密に行っている。 配置基準は満たしているが手厚い療育を行うため採用を進めている。	
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	4	0		
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	4	0	日頃から清潔を心がけ、細目に掃除をしている。	今後も清潔な空間づくりを行っていく。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	スタッフ間で連携を図り、業務を分担している。	業務を見直し、簡略できそうな内容は上司へ相談する。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	4	0		頂いたご意見で、改善出来る内容は直ぐ改善に努めている。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	4	0		
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1		
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	4	0	毎月合同の研修会を行っている。	今後も研修会を実施し、自己研鑽に努める。
適切な+	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	4	0	担当しているスタッフが中心になっているが、他スタッフも意見を出し、皆の意見が反映された支援計画を作成している。	
	11	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0		
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	4	0		
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0		
	14	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	毎月活動内容が同じにならないように工夫している。	

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
支援の提供	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	児童ミーティングを取り入れ、子ども達の意見も活動プログラムに反映している。	今後も継続して行っていく。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	4	0	利用児童の発達段階に応じて活動内容を一部変更したりしている。	
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	一日の流れを確認し、状況に応じて連絡を取り合い、送迎の対応も工夫している。	
	18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	4	0	一日の振り返りを行い、気付いたことを皆で共有している。	
	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0		
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	4	0	資料作成を行い、詳細に伝えられるようにしている。	
関係機関や保護者との連携関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0		
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	4	0		
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	/	/		対象になる児童がいないため、該当しない。今後必要に応じて対応が出来るようしたい。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	/	/		対象になる児童がいないため、該当しない。今後必要に応じて対応が出来るようしたい。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	4	0	送迎時に申し送りをしてもらい、情報共有を図っている。	
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	3	1		
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	4	0	定期的に連絡を取り合い、情報共有を図っている。	
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	4	0		
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	0	4		コロナ禍で交流を持てる場がない。アンテナを張り、機会があれば参加する。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	学校での様子も伝え、保護者が見えていない所を伝えられるようにしている。	
	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	3	1		

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
保護者への説明責任等	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1		
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	4	0		
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	帰りの送迎時に相談を受けた際、相談に乗っている。	
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	4		コロナ禍で実施できていないが状況を見て実施する。
	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	4	0		
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0		
	38	個人情報の取扱いに十分注意している	4	0	第3者が閲覧するのはダブルチェックをしている。	今後もダブルチェックを行う。
	39	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0		
40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	1	3		コロナの感染状況を見て、参加できる場合には参加する。	
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	4	0	定期的にマニュアルを開き、対応方法を見直ししている。	
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	療育プログラムに避難訓練を取り入れ、全体でも考える場を設けている。	
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	4	0		
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	アレルギーのある児童の保護者へおやつ準備を依頼している。	おやつ時は対象児童を見守りつつ、その他の児童へも周知を行い、皆で誤食がないようにする。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	必要に応じて、事例検討会をしている。	
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	虐待防止月間に研修会をしている。	
47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	0	4		方針はまとめたが、説明まで出来ていない。今後委員会で方針をまとめて保護者へ周知する。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は事業所全体で行った自己評価です。

放課後等デイサービス事業所における自己評価結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 リトルグリーンバードねさぶ教室

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	0	3	1	活動内容によって机などを移動し、スペースを確保している。	
	2	職員の配置数は適切である	3	0	0	他教室と連携を図り、体制を維持している。	
	3	事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされている	1	1	2		
業務改善	4	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画している	4	0	0	スタッフ間で相談して業務を分担している。	
	5	保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	3	1	0		
	6	この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開している	3	1	0		
	7	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている	3	1	0		
	8	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	3	1	0	毎月合同の研修会を開催している。	今後も研修を重ね、研鑽を図る。
適切な支援の提供	9	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成している	3	1	0	スタッフ間でも話し合い、分析を行っている。	
	10	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用している	4	0	0		
	11	活動プログラムの立案をチームで行っている	4	0	0	スタッフ間で意見を出しあい、バランスの良いプログラム作成に努めている。	今も現状を維持しつつ、他教室のプログラムを参考にして活動プログラム作成をする。
	12	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	4	0	0	児童ミーティングを開き、子ども達からもやりたい活動を挙げてもらっている。	
	13	平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援している	2	2	0	紙媒体にこだわらず、様々な形態で学習を行えるように工夫している。	
	14	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成している	4	0	0	子ども達の様子を見て、プログラムを変更したり、活動内容を変更したりしている。	
	15	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	4	0	0	一日の流れをスタッフ間で確認している。	今後も継続し、連携を図っていく。
	16	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	2	2	0	スタッフ間で振り返りを行い、共通認識を図っている。	今後も継続し、連携を図っていく。
	17	日々の支援に関して正しく記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	4	0	0		

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	18	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断している	4	0	0	相談員と連携を図り定期的にモニタリングを行っている。	
	19	ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っている	4	0	0		
関係機関や保護者との連携	20	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	4	0	0	担当しているスタッフか参加するが、情報は全スタッフで共有している。	今後も継続して行う。
	21	学校との情報共有(年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等)、連絡調整(送迎時の対応、トラブル発生時の連絡)を適切に行っている	4	0	0	帰りの送迎時に申し送りをしてもらい、情報共有している。	今後も継続して行い、見落とし等がン愛用に、全スタッフで確認を行う。
	22	医療的ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えている	0	4	0		対象児童がいない。
	23	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めている	4	0	0	4月に園から頂いた情報を小学校へ申し送りしている。	事前に申し送りしていたことでスムーズに対応できた。今後も継続していく。
	24	学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等している	0	3	1		対象児童がいない為、実施は出来ていない。しかし、就労支援センターの情報を収集することが出来たので、保護者へ案内できる材料はある程度揃っている。
	25	児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	2	1	1		研修を受けて、障害者支援センターについて学ぶ機会があった。今後も必要に応じて、連携を図れるようにする。
	26	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会がある	0	0	4		コロナ禍の為、機会がないが、状況を見てイベント等の情報があれば、積極的に参加する。
	27	(地域自立支援)協議会等へ積極的に参加している	0	0	4		コロナ禍の為参加出来ていない。イベント等があれば積極的に参加する。
	28	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	4	0	0	リトルの様子だけでなく、学校からの申し送りの内容も伝えている。	今後も情報共有を図り、密な関係作りに努める。
	29	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っている	3	0	1		
保護者への説明責任等	30	運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	3	1	0		
	31	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	4	0	0	日頃から情報共有を行い、相談しやすい雰囲気づくりに努めている。	
	32	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	0	0	4	コロナ禍の為実施できていない。	コロナの感染状況を見て、実施したい。また、保護者から要望があれば実施する。
	33	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応している	3	1	0		
	34	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	4	0	0	毎月リトルだよりを発行し、リトルの様子を保護者へ伝えている。	

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
	35	個人情報に十分注意している	4	0	0	facebookに記事を投稿する際は、ダブルチェックをしている。	
	36	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	4	0	0		
	37	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている	0	0	4	コロナ禍の為、実施できていない。	コロナの感染状況を見て、参加できる場合には参加する。
非常時等の対応	38	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知している	4	0	0		
	39	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	4	0	0	月に一度様々な避難訓練を行っている。	今後も継続し、スタッフだけでなく、児童も訓練を行っていく。
	40	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	4	0	0	年に一度研修会を行っている。	
	41	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載している	0	2	2	方針はまとめたが、説明までには至っていない。	今後、委員会で方針をまとめて保護者へ周知する。
	42	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	4	0	0		
	43	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	4	0	0	必要に応じて事例検討会を実施している。	

保護者等からの児童発達支援事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 リトルグリーンバードねさぶ教室

保護者等数(児童数) 5人 回収数 4人 割合 80 %

	チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1 子どもの活動等のスペースが十分に確保されている	3	1	0	0		
	2 職員の配置数や専門性は適切である	3	0	0	1		
	3 生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている	3	0	1	0	バリアフリーは該当しない	児童の特性に配慮した教室作りを行っています。
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	3	0	0	0		
適切な 支援の 提供	5 子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されている	3	0	0	0		
	6 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	3	1	0	0		
	7 児童発達支援計画に沿った支援が行われている	4	0	0	0		
	8 活動プログラムが固定化しないよう工夫されている	2	0	0	2		
	9 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	2	0	0	2		
適切な 支援の 提供	10 運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされた	3	0	0	1		
	11 児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされた	3	0	0	1		
	12 保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われている	1	0	1	2		
	13 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解ができているか	4	0	0	0		
	14 定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われている	3	0	0	1		
	15 父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されている	1	0	1	2	保護者会があるか分からない	コロナの感染状況を見て、実施したいと思います。
	16 子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制が整備されているとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申入れをした際に迅速かつ適切に対応されている	3	0	0	1		
17 子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされている	4	0	0	0			

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	18	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信されている	2	0	0	2		
	19	個人情報の取扱いに十分注意されている	4	0	0	0		
非常時等の対応	20	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・説明されている。また、発生を想定した訓練が実施されている	4	0	0	0		
	21	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われている	3	0	0	1		
満足度	22	子どもは通所を楽しみにしている	4	0	0	0		
	23	事業所の支援に満足している	4	0	0	0		

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

保護者等からの放課後等デイサービス事業所評価の集計結果(公表)

公表:令和 年 月 日

事業所名 リトルグリーンバードねさぶ教室

保護者等数(児童数) 10人 回収数 7人 割合 70

		チェック項目	はい	どちらとも いいない	いいえ	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	1	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	6	1	0	子どもが少し狭いと言っていました。(活動内容によって)	活動時は出来るだけ障害物をなくして活動を行っていますが外で活動するなど工夫していきたいと思います。
	2	職員の配置数や専門性は適切であるか	6	1	0		
	3	事業所の設備等は、スロープや手すりの設置などバリアフリー化の配慮が適切になされているか	3	2	0	不明	児童の特性に配慮した教室作りを行っています。
適切な 支援の 提供	4	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画*1が作成されているか	7	0	0		
	5	活動プログラム*2が固定化しないよう工夫されているか	7	0	0		
	6	放課後児童クラブや児童館との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	3	3	1	コロナ禍の為	コロナの感染状況を見て、イベント等に参加したいと思います。
保護者 への 説明 等	7	支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	7	0	0		
	8	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができているか	7	0	0		
	9	保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	5	2	0		
	10	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	1	2	3	・父母会、保護者会などはしていない。 ・コロナ禍の為 ・コロナ禍なので仕方ないと思います。	コロナの感染状況を見て、実施したいと思います。
	11	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか	6	1	0		
	12	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	7	0	0		
	13	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	7	0	0		
14	個人情報に十分注意しているか	7	0	0			

非常時等の対応	15	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか	4	1	1	不明	各種マニュアルを作成し、定期的に確認、修正を行っております。
	16	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	7	0	0		
満足度	17	子どもは通所を楽しみにしているか	6	1	0		
	18	事業所の支援に満足しているか	7	0	0		

*1 放課後等デイサービスを利用する個々の子どもについて、その有する能力、置かれている環境や日常生活全般の状況に関するアセスメントを通じて、総合的な支援目標及び達成時期、生活全般の質を向上させるための課題、支援の具体的内容、支援を提供する上での留意事項などを記載する計画のこと。放課後等デイサービス事業所の児童発達支援管理責任者が作成する。

*2 事業所の日々の支援の中で、一定の目的を持って行われる個々の活動のこと。子どもの障がい特性や課題、平日／休日／長期休暇の別等に応じて柔軟に組み合わせて実施されることが想定されている。